

林原美術館 所蔵名品展

2013年
5月24日(金)
▶ 7月28日(日)

【能装束は6月25日[火]から全作品展示替え】



● 段片身替りに雪持芭蕉文縫箔(前期展示)



● 段に秋野虫籠文唐織(後期展示)

— 能装束と色鍋島の コレクションから —

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART



● 色絵房文七寸皿

記念講演会

演題／林原美術館コレクションについて—能楽関係資料を中心に—
講師／浅利 尚民 氏 (財団法人林原美術館主任学芸員)

- 日時：6月8日(土)14時～15時30分 ● 場所：石水博物館多目的室
- 定員：当日先着順40名様(駐車場が手狭なため公共交通機関でご来館ください)

- ◆ 開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)
- ◆ 休館日／月曜(祝日の場合は翌日：7月15日(月・祝)は開館、翌16日(火)は休館)
- ◆ 入館料／一般500円[400円] 学生300円(高校生以上)
※ []内は20名様以上の団体料金

公益財団法人
石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

岡

山城天守閣の西側、旧二の丸屋敷跡に位置する林原美術館は、日本をはじめとする東アジア地域の絵画や工芸品と、旧岡山藩主池田家から引き継いだ大名調度品を中心とする珠玉のコレクションを所蔵しています。

林原美術館は、岡山財界の雄、林原一郎氏（一九〇八〜一九六一）の確かな鑑識眼により蒐集された美術品を基に、同氏の遺志をついだ遺族や知人たちの尽力によって、昭和三十九年に開館しました。

所蔵品は、林原一郎氏の個人蒐集品と、池田家旧蔵品からなり、刀剣・武具・甲冑・絵画・書跡・能面・能装束・彫漆・螺鈿・蒔絵・陶磁・金工など多岐にわたり、その水準の高さは広く知られています。

本展では、江戸時代に佐賀藩で焼成された鍋島焼の名品と、池田家旧蔵の能装束のコレクションから、選りすぐりの逸品を展示いたします。大名家が育くんだ煌びやかな文化をお楽しみください。

段に霞松竹梅文唐織（前期展示）



林原美術館 所蔵名品展 — 能装束と色鍋島のコレクションから —



色絵桜御所車文五寸皿



色絵鶴鶯文五寸皿



稲束に鳴子文縫箔（後期展示）

本展は林原美術館と石水博物館の所蔵品交換展です。林原美術館では4月26日（金）～6月23日（日）の会期で「金重陶陽が慕った川喜田半泥子と茶の湯の世界—石水博物館名品展—」が開催されます。詳細は林原美術館までお問い合わせください。
☎086-223-1733 岡山市北区丸の内2-7-15

同時開催 第2展示室

所蔵品展
「川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品」

次回展覧会

びはしょうちゅうにあり
美在掌中 — 中国の小さなやきもの —
■会 期：2013年8月2日（金）
～9月29日（日）

展示替え休館

2013年7月29日（月）
～8月1日（木）



交通アクセス

- JR・近鉄津駅より三重交通バス（久居駅方面行）にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方
【津市街から】国道23号線[大倉]交差点を県道776号線（久居方面）へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道（緑の看板あり）を左折。約300m 先左側。（駐車場 15台）

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

第1展示室

林原美術館所蔵名品展 —能装束と色鍋島のコレクションから— 平成25年5月24日(金)～7月28日(日)

出品目録

No.	資料名	分類	前期 ※1	後期 ※2
1	池田綱政画像	絵画		
2	謡本 池田綱政所用 六冊	典籍		
3	御所車に夕顔文唐織	唐織		
4	段に秋野虫籠文唐織	唐織		
5	段に霞松竹梅文唐織	唐織		
6	段に霞と撫子に蜻蛉文唐織	唐織		
7	段に籠目と菊に蝶蜻蛉文唐織	唐織		
8	段に籠目と卍字繋ぎに桜花文唐織	唐織		
9	霞に葛と色紙文縫箔	縫箔		
10	破れ垣に枝垂桜文縫箔	縫箔		
11	段片身替りに雪持芭蕉文縫箔	縫箔		
12	稲束に鳴子文縫箔	縫箔		
13	網代に撫子文繡入り摺箔	摺箔		
14	檜垣に散り楓文繡入り摺箔	摺箔		
15	段に替り格子と鉄線唐草文厚板	厚板		
16	段に枝垂桜文厚板	厚板		
17	色絵宝尽文大皿	鍋島		
18	色絵房文七寸皿	鍋島		
19	色絵柴垣桜花波濤文七寸皿	鍋島		
20	色絵鶴鴿図五寸皿	鍋島		
21	色絵桜御所車文五寸皿	鍋島		
22	色絵譲葉裏白図五寸皿	鍋島		
23	色絵岩笹文五寸皿	鍋島		
24	色絵蜘蛛巣梅花散文八角皿	鍋島		
25	染付月兎文皿 五口	鍋島		
26	色絵椿図七寸皿	鍋島		
27	色絵柘榴垣根文七寸皿	鍋島		
28	色絵朝顔柴垣文七寸皿	鍋島		
29	青磁染付三壺文五寸皿	鍋島		
30	色絵雪の下文五寸皿	鍋島		
31	色絵桜花籠文五寸皿	鍋島		
32	色絵水草流水文五寸皿 三口	鍋島		
33	色絵紫陽花柴垣文五寸皿	鍋島		
34	色絵龍田川文五寸皿 二口	鍋島		

作品保護のため、能装束は6月25日より全作品展示替えをいたします。

※1 前期＝5月24日(金)～6月23日(日)

※2 後期＝6月25日(火)～7月28日(日)

第2展示室

所蔵品展「川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品」

平成25年5月24日(金)～7月28日(日)

出品目録

No.	作品名	窯など	作者	備考
1	白掛茶碗 銘「天の川」	広永窯	川喜田半泥子作	
2	刷毛目茶碗 銘「鮑」	広永窯	川喜田半泥子作	
3	平茶碗	千歳山窯	川喜田半泥子作	
4	黒織部茶碗 銘「富貴」	千歳山窯	川喜田半泥子作	寄託作品
5	灰釉茶碗 銘「これはしたり」	広永窯	川喜田半泥子作	寄託作品
6	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	広永窯	川喜田半泥子作	
7	焼締茶碗 銘「しほ釜」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
8	志野茶碗 銘「微笑」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
9	片身替茶碗 銘「布袋和尚」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
10	灰釉縮れ砂金袋水指 銘「若水」	広永窯	川喜田半泥子作	
11	傘図		川喜田半泥子筆	
12	半泥子と茶碗図		川喜田半泥子筆	寄託作品
13	コモ湖図		川喜田半泥子筆	
14	南瓜図		川喜田半泥子筆	
15	井戸形茶碗 銘「そのまま」		川喜田半泥子作	
16	白掛茶碗 銘「きもやきむすこ」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
17	呼継茶碗 銘「ねこなんちゅ」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
18	井戸手茶碗 銘「道艸」	広永窯	川喜田半泥子作	
19	唐津手茶碗 銘「三笠山」	広永窯	川喜田半泥子作	
20	黒茶碗 銘「三保の夜」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
21	白掛茶碗 銘「白蔵主」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
22	鼠志野茶碗 銘「一トめぐり」	広永窯	川喜田半泥子作	
23	焼締茶碗 銘「如雷」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
24	黄瀬戸茶碗 銘「滑り川」	広永窯	川喜田半泥子作	
25	灰釉茶碗 銘「園城寺」	広永窯	川喜田半泥子作	
26	灰釉茶碗 銘「浮寝鳥」	広永窯	川喜田半泥子作	寄託作品
27	赤玉香合	広永窯	川喜田半泥子作	寄託作品
28	香合 銘「番町の家」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
29	赤絵香合 銘「仏法僧」	千歳山窯	川喜田半泥子作	
30	志野宝珠香合	千歳山窯	川喜田半泥子作	
31	染付鉢	千歳山窯	川喜田半泥子作	
32	黄瀬戸鉢	千歳山窯	川喜田半泥子作	
33	朝顔図		川喜田半泥子筆	寄託作品
34	蓮の葉仏図		川喜田半泥子筆	
35	千歳山の墓図		川喜田半泥子筆	
36	焼物図		川喜田半泥子筆	

茶席展示室内

37	書「大忙生水流澗下」		金陵好清筆	
38	竹掛花入 銘「大黒」		川喜田半泥子作	
39	赤絵水指 銘「鳴穂堂」	広永窯	川喜田半泥子作	
40	春慶塗茶器		川喜田半泥子作	
41	井戸手茶碗 銘「みぎわ」	千歳山窯	川喜田半泥子作	

※出展作品は変更になることがあります。